

# 新型交付金のイメージ

---

平成27年6月1日  
石破臨時議員提出資料

# 「新型交付金」: 従来の「縦割り事業」を超えた取組支援①

(例)「先駆性のある取組(その1)」(日本版CCRCの導入)

KPI <現状> 高齢者移住なし ⇒ 5年後(H32年度) 高齢者移住200名

Plan → Do → Check → Action → (Plan)

事業設計 → 実施 → KPI達成 → (更なる展開)

## 日本版CCRCの導入

・地方公共団体が、「日本版CCRC」を誘致することにより、①高齢者移住の促進、②高齢者の就労・消費喚起、③地元雇用の確保、④健康ビジネスの起業、⑤医療介護費用抑制を目指すことを企画。

しかし

・従来の「縦割り事業・制度」では、地域の実情に応じ、日本版CCRCの「コア」となる本部機能の立ち上げ・維持助成が困難なため、誘致できない

このため

**「新型交付金」を活用し、地域に合った「日本版CCRC」誘致**

※ CCRC = Continuing Care Retirement Community

(シェア金沢の例)

【サービス付き高齢者向け住宅】→整備補助、家賃等は自己負担

【コミュニティの運営管理機能】

○街全体の運営拠点  
○住民の交流スペース、  
○住民の生活全般のコーディネート  
→既存制度の財政支援なし



【介護サービス】  
→介護保険

「日本版CCRC」

東京圏をはじめとする高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けられるような地域づくり

# 「新型交付金」: 従来の「縦割り事業」を超えた取組支援②

(例)「先駆性のある取組(その2)」(日本版DMOの創設)

KPI <現状> 訪日外国人観光消費額300億円 ⇒ 5年後(H32年度)600億円



事業設計 → 実施 → KPI達成 → (更なる展開)

## 日本版DMOの創設

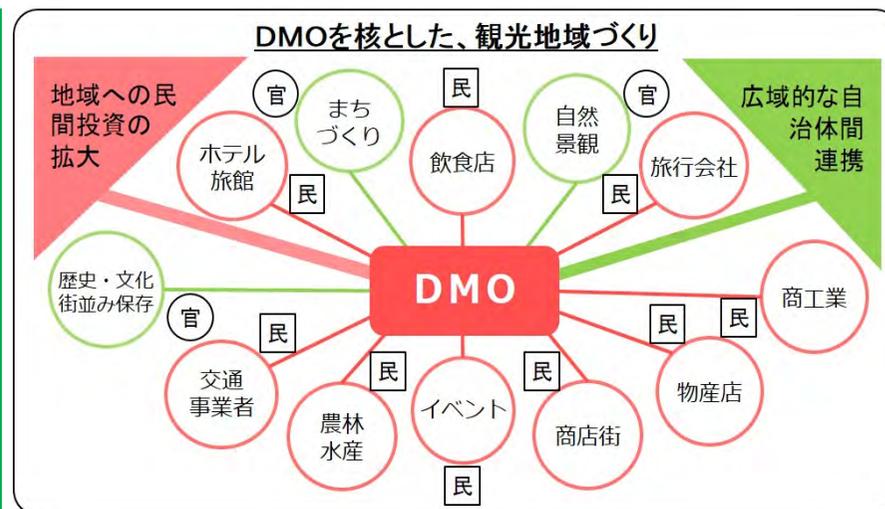
・複数自治体が連携して日本版DMOを創設し、「観光産業」を核に官民協働・地域間連携を進め、①広域的な観光ルートの形成、②地域ブランドの構築、③新たな地域製品の創出を目指すことを企画。

しかし

・従来の「縦割り事業・制度」では、地域の実情に応じ、日本版DMOの立ち上げ時のインシャルコストや活動経費の確保ができないため、導入が困難

このため

**「新型交付金」を活用し、地域で連携した「日本版DMO」を創設**



### 「日本版DMO」

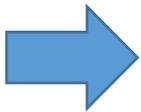
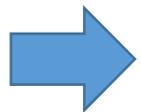
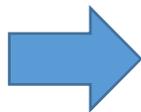
様々な地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、ウェブ・SNS等を活用した情報発信・プロモーション、ビッグデータ等を活用した効果的なマーケティング、戦略策定等について、地域が主体となって行う観光地域づくりの推進主体

※ DMO = Destination Marketing Organization

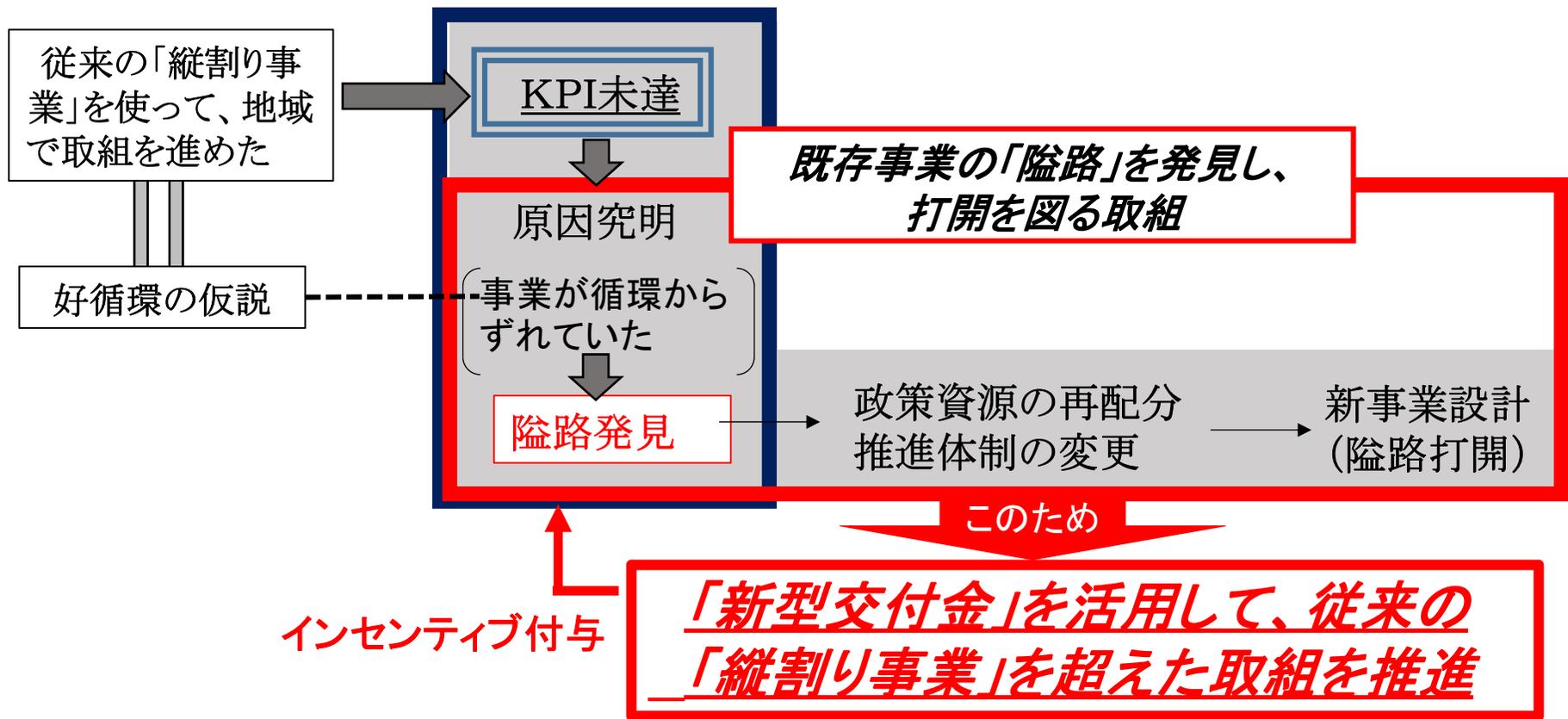
# 「新型交付金」: 従来の「縦割り事業」を超えた取組支援③

(例)「既存事業の「隘路」を発見し、打開する取組」

KPI 

Plan & Do  Check  Action  Plan

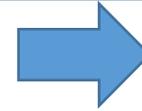
事業設計・実施 → KPI達成 → (更なる展開)



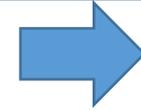
# (例) 移住促進事業における「隘路」を発見し、打開する取組

KPI <H23年度> 移住者数120組 ⇒ 5年後(H27年度) 移住者数500組

Plan & Do



Check



Action

事業設計・実施

KPI達成

(更なる展開)

## 移住までの5つのステップ(好循環の仮説)

A県を好きになっ  
てもらおう

- 好印象をもってもらおう
  - 各種プロモーション
  - 県産品、観光プロモーションとの連携(ヘビーリピーターをゲット)

移住に関心を  
持ってもらおう

- 「移住といえば、A県」というイメージの普及
  - 「A県で暮らす」というHPの立ち上げと普及
  - 「幸せ移住パッケージシステム」による情報提供

移住に向けた行  
動を起こしてもらおう

- きめ細かな情報発信、相談対応
  - 「移住・交流コンシェルジュ」による相談対応
  - 民間人材ビジネス事業者との連携による情報発信

移住について真  
剣に考えて決め  
てもらおう

- 不安の解消に向けたサポートや受け入れ体制
  - 「移住推進協議会」の設置(官民組織)
  - 市町村「専門相談員」の配置、民間支援団体の支援

安心して住み続  
けてもらおう

- 地域になじんでもらおう
  - 「地域移住サポーター」によるフォローアップ、移住者交流会

### 「移住・交流コンシェルジュ」



A県に移り住みたいとお考えの方に、相談窓口として地域や住居、仕事などのご希望やご質問をお伺いし、実現のための支援情報のご提供や、不安の解消といった側面からサポートいたします。そして、移住の達成後も、生活や生業、地域の人々・企業との交流などのフォローアップを目指した、移住のための「総合案内人」です。

**HPアクセス数**  
H23 50,105件  
→H26 321,873件

**移住相談数**  
H23 599人  
→H26 3,458人

**移住者数**  
H23 120組  
→H26 403組  
(KPI) 500組

移住後の感想	満足している	28%
	自然が豊か	13%
	人がよい	12%
	暮らしやすい	10%
	食べ物がおいしい	7%
	その他(娯楽がない、貸農地、貸家がない)	24%
移住を躊躇した理由	仕事に関すること	36%
	住居に関すること	17%
	家族のこと	12%
	田舎暮らしへの不安	10%
	収入減	5%
	生活環境のこと	9%

フォローアップ対象 110人

**隘路発見**